

## 『子どもが本当は欲しがっているお母さんの言葉』

(朝妻秀子著、青春出版社、2012.8.)

表紙の裏に、こんなことが書いてあります。お母さんのひと言は、世界中の誰よりも、そして、この世のどんなものよりも、子どもにとっては大切なものなのです。学校教育にも参考になることがたくさん書いてありました。いくつか紹介します。

◆子どもはお母さんの思いに一生懸命応えている。そんなときに「そんなこともできないの」「○○ちゃんは、しっかりやっているわよ」と言われると、**深く傷つく**。

◆「**一人でやってごらん**」という言葉が、子どものやる気を育てる

◆子育てには、「**I am OK. You are OK.**」の態度が何よりも大事。これが、子どもの**心を強くする**子育てのコツ。

「あなたはいい子ね。世間も温かく見守ってくれる」

◆自我を作り上げていくには、自分で仮説を立て、実行し、その結果を検証することが大切。子どもが仮説を立てた段階で「それはダメ」「そうじゃなくて、こうしたほうがいい」「こうしなさい」などと言ってしまくと、子どもは、仮説、実行、検証の機会を失ってしまう。